

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	キックオフセミナー	
講師	中見真也（神奈川大学経営学部）	
目的	本プログラムの概要（目的、狙い、成果目標等）を説明し、受講生の質疑に応答する。	
到達目標	受講生が、本プログラムの概要を理解する。	
授業内容	今日のような環境変化が激しいVUCA時代において、社会課題を自社のビジネスにどう取り込み、事業化を推進していくかを神奈川大学経営学部中見と株式会社quantum川下氏が本プログラムの概要を説明しながら、受講生と双方向でやりとりを行い、理解促進に努める。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	ソーシャルデザイン・価値創造①	
講師	中見真也（神奈川大学経営学部）	
目的	マーケティングは、「売れる（売れ続ける）ための仕組みづくり」であり、顧客を満足させるための全社的な取り組みである。	
到達目標	マーケティング思考のフレームワークを体得する。	
授業内容	本講義では、市場環境分析（3C、SWOT分析）から、マーケティング戦略（STP）、マーケティング戦術（4P、4C）へ落とし込む思考法を、グループディスカッションを交えながら学ぶ。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	国際ビジネス①	
講師	行本勢基（神奈川大学経営学部）	
目的	経営学の世界で使用される様々なフレームワークを紹介し、受講生が企業現場で応用可能な思考の軸を修得する。	
到達目標	受講生各自が思考の軸を修得し、企業現場の課題解決に応用することができる。	
授業内容	時代を超えて適用可能なフレームワークには普遍的な価値があり、その要素をグループディスカッションを交えながら解説する。また、ゲストスピーカー（日本総研）を招き、横浜市独自の認証制度の紹介を通し、地域に密着したより良い企業のあり方を受講生と共に探索する。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	技術経営とイノベーション①	
講師	越智信仁（関東学院大学経営学部）	
目的	SDGsやESG（環境・社会・ガバナンス）などのサステナビリティ開示要請がグローバルに加速する中、求められる企業経営の革新とそのディスクロージャーの枠組みについて学ぶ。	
到達目標	社会的課題の解決に向けたイノベーションを財務報告と統合的に開示することで、企業価値創造を対外的に訴求する論理とフレームワークを修得する。	
授業内容	気候変動情報開示の国際的潮流や今後の展開を見据えつつ、SDGs/ESG経営とその開示を巡る基礎理論や実践的取り組みについて、グループディスカッションを交えながら解説する。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	中間報告	
講師	中見真也（神奈川大学経営学部）	
目的	本プログラムの特徴である、「横浜の抱える社会課題」に関し、各グループ内でビジネスとしてどのように取り組むか議論してきた内容を中間報告としてプレゼンテーションを行う。	
到達目標	各グループより、中間報告を行い、最終報告に向けてのFB事項を確認する。	
授業内容	本プログラムの特徴である、「横浜の抱える社会課題」に関し、各グループ内でビジネスとしてどのように取り組むか議論してきた内容を中間報告として全員の前でプレゼンテーションを行う。講師陣よりその内容について講評を行い、最終報告へ向け、更にグループディスカッションを行う。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	トップマネジメント	
講師	高野雅彰（株式会社DG TAKANO）、芝田崇行（株式会社スピーク）、早藤正史（株式会社成城石井）	
目的	企業のトップや経営幹部が登壇し、さまざま場面での意思決定の過程と、それにいたる環境条件を、どのように考察して結論に至ったかを直接聞くことで、トップの思考過程を学ぶ。	
到達目標	現実の事象や出来事を、トップがどのように分析し、それに対処してきたかを知ることで、分析力と判断力、さらには決断にいたる過程を体得する。	
授業内容	トップからの事例に則した講義をもとに、参加者との双方向の意見交換を通じて、理解と思考過程を深めていく。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	ソーシャルデザイン・価値創造②	
講師	本橋永至（横浜国立大学大学院国際社会科学府・研究院）	
目的	本講義では、データに基づくマーケティング意思決定を行うための基本的な考え方及び具体的な方法を学ぶ。	
到達目標	マーケティングデータの活用領域を理解するとともに、マーケティングリサーチの方法を修得する。	
授業内容	主要なマーケティングデータを紹介し、マーケティングリサーチにおける調査方法及びデータ分析手法を、グループディスカッションを交えながら解説する。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	国際ビジネス②	
講師	伊藤智明（横浜市立大学国際商学部）	
目的	アントレプレナーシップとは、「いまの常識をもっと優しいものに変える営み」のことである。こうしたアントレプレナーシップの特徴の一つは、成功するかどうかが事前に分からないことにある。「最大限の準備をして、成功確率を高めてから着手する」という従来の考え方とは異なる身構えが必要になる。その身構えとは、「とりあえず小さく始めて、顧客価値につながる自分の強みを圧倒的なものにしていくために、試行錯誤を積み重ねること」である。この講義では、このようなアントレプレナーシップについての理解を深めるために、横浜の地域企業の事例を題材にローカルとグローバルの視点で参加者と共に検討していくことを目指す。	
到達目標	受講生が自らの現場で自分なりのアントレプレナーシップを発揮できるようになる。	
授業内容	この講義は以下の三つのパートで構成する。第一に、講師がアントレプレナーシップの理論と事例を紹介する。第二に、横浜の地域企業からゲスト講師にお越しいただき、ローカルとグローバルの視点でご自身のアントレプレナーシップの経験を話してもらう。第三に、受講生が自らの経験を重ね合わせながら、ゲスト講師の経験の価値を検討する。また、講義中にグループディスカッションを行い、理解を深める。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	技術経営とイノベーション②	
講師	為近恵美（横浜国立大学地域連携推進機構）	
目的	イノベーション創出に資する人材の育成を目的とする。	
到達目標	イノベーションの本質を理解し、そのために社会をどう変えていくべきか、自身がどのように考え、どのように行動すべきかを知る。	
授業内容	イノベーションを起こすためのヒントやなぜ起業が求められるのか、日本の産業の現状と起業の必要性等について解説し、今後進むべき道についてグループ討論を行う。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	国際ビジネス③	
講師	一条智行（神奈川大学経営学部）	
目的	国際ビジネスでの具体的な事例に触れながら、プロジェクトファイナンス（以下「PF」）の手法を通じ、各プレイヤーの行動様式とその基本的な考え方について理解を深める。	
到達目標	特に借り手目線での財務戦略についてのベースを習得、その上で金融手法としてのPFの基礎の習得を目指す。また具体的な事例から学ぶことで「今世界で起きていること」に対する受講者それぞれの視座を得る。	
授業内容	基本事項の講義を最低限行った上で、実例を対象とした受講者間でのグループディスカッション等を通じ理解を深める。ゲストスピーカーは、実際にビジネスに取り組む（PFの借り手の）立場から、最新事例を紹介し、課題等を通じて議論を深める。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	技術経営とイノベーション③	
講師	真鍋誠司（横浜国立大学大学院国際社会科学府・研究院）	
目的	技術経営の抱えるジレンマを中心に、基本的な考え方とフレームワークを理解する。	
到達目標	技術経営に関するフレームワークを用いて、分析ができる。	
授業内容	本講義では、カメラ産業の事例をもとにグループディスカッションを行い、技術経営の基礎的な理論とその応用について学ぶ。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	ソーシャルデザイン・価値創造③	
講師	中村陽一（立教大学名誉教授）	
目的	社会実践としてのソーシャルデザインの把握	
到達目標	ソーシャルデザインをめぐる現状と課題の実践的習得	
授業内容	ソーシャルデザインの思想的・理論的含意から実践的な社会技術としてのありようまで分野・領域横断的に提示し、グループ討議を交えながらその見取図を描く。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業

2025年度 よこはま事業共創プログラム with YOXO

科目名	最終報告	
講師	中見真也（神奈川大学経営学部）	
目的	本プログラムの特徴である、「横浜の抱える社会課題」に関し、各グループ内でビジネスとしてどのように取り組むか議論してきた内容を最終報告としてプレゼンテーションを行う。	
到達目標	各グループより、最終報告を行う。	
授業内容	本プログラムの特徴である、「横浜の抱える社会課題」に関し、各グループ内でビジネスとしてどのように取り組むか議論してきた内容を最終報告として全員の前でプレゼンテーションを行い、講師陣よりその内容について講評を行う。	
授業運営に関する方針	企業等と連携して行う授業	双方向又は多方向に行われる討論を伴う授業
	実務家教員や実務家による授業	実地での体験活動を伴う授業